6 控え柱の取付け

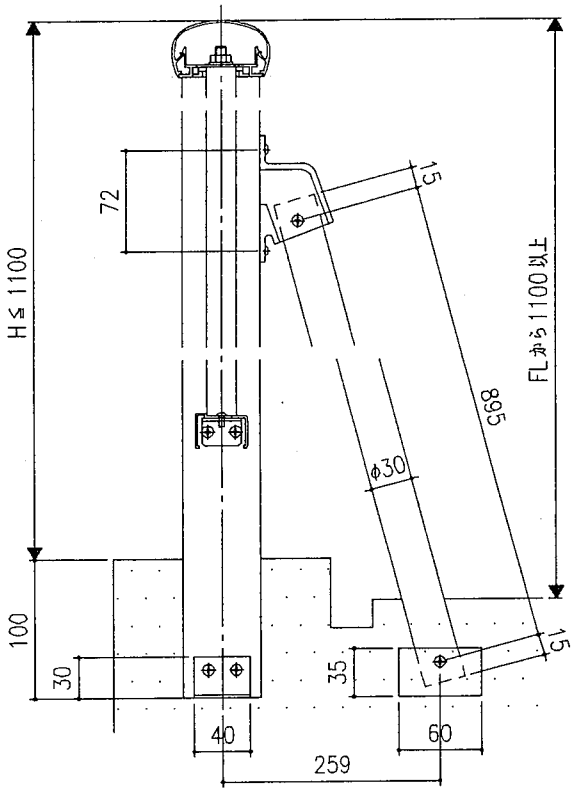
1) 控え柱ブラケットの取付け

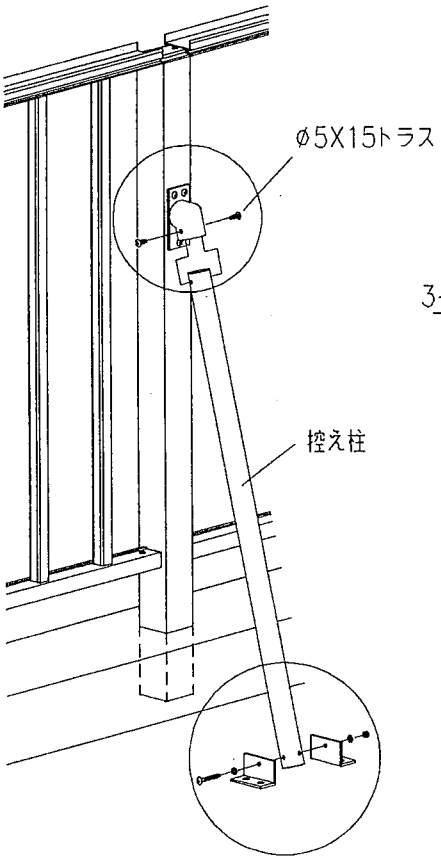
- 控え柱の取付け位置が決まりましたら、柱にブラケットの取付け穴加工をします。（下穴径　φ4.5）

- 控え柱ブラケットをφ5X15トラスで柱に取付けます。

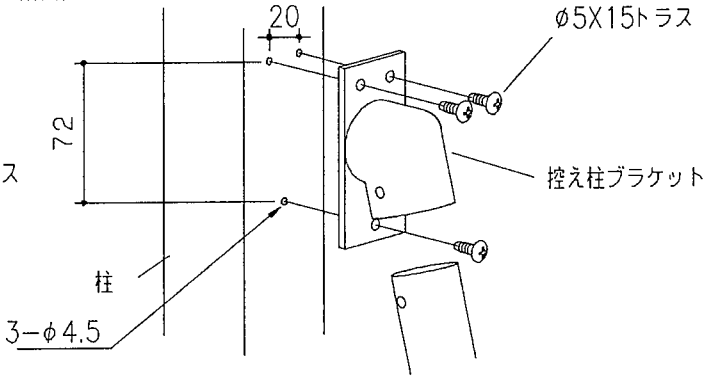
2) 控え柱の取付け

- 控え柱の下部（埋め込み部）に控え柱アンカーをφ5X40トラス及びナットで取付けます。
  控え柱を控え柱ブラケットに差し込みφ5X15トラスで固定してください。

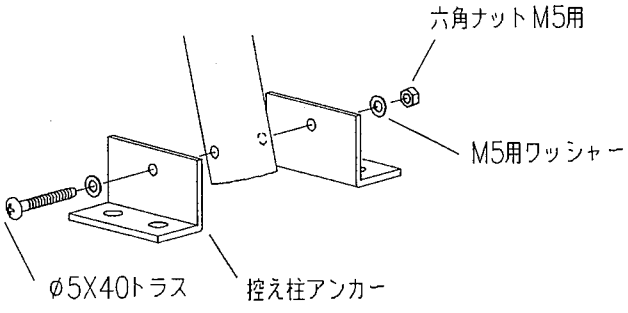




控え柱上部



控え柱下部



7 方立柱の取付け

1) 方立柱下部の取付け

①パラペット付きタイプ

- 通しボルト（M8X30）を取付けます。
- 柱ライナー、方立金具（下）を通しボルトで,固定してください。

※ライナーはパラペットの形状により選んで使用してください。

柱ライナーの向きに注意してください。

- 方立金具が方立柱の中に入るようにセットして六角ボルトM8X65及び袋ナットで固定してください。

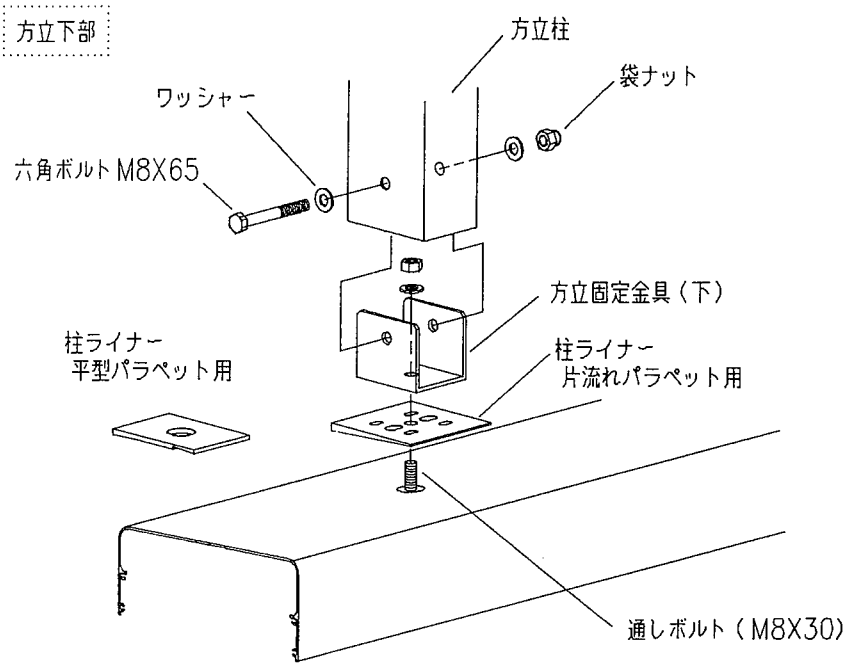
②柱埋め込みタイプ

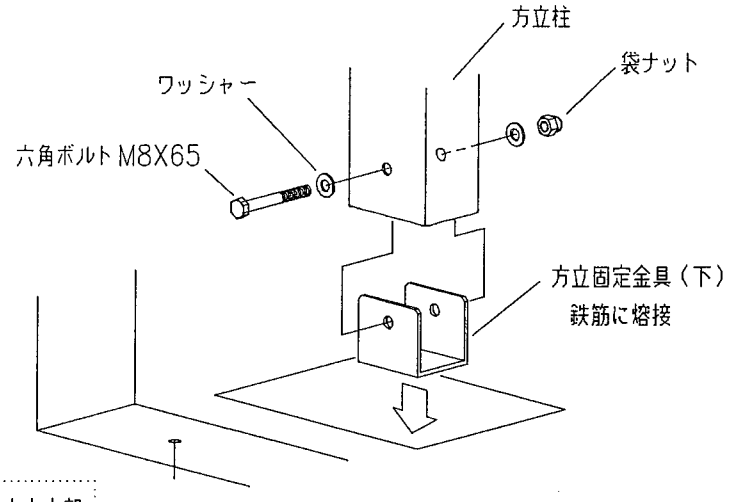
- 方立固定金具（下）を鉄筋に熔接して取付けます。
- 方立金具が方立柱の中に入るように，セットして六角ボルトM8X65及び袋ナットで固定してください。

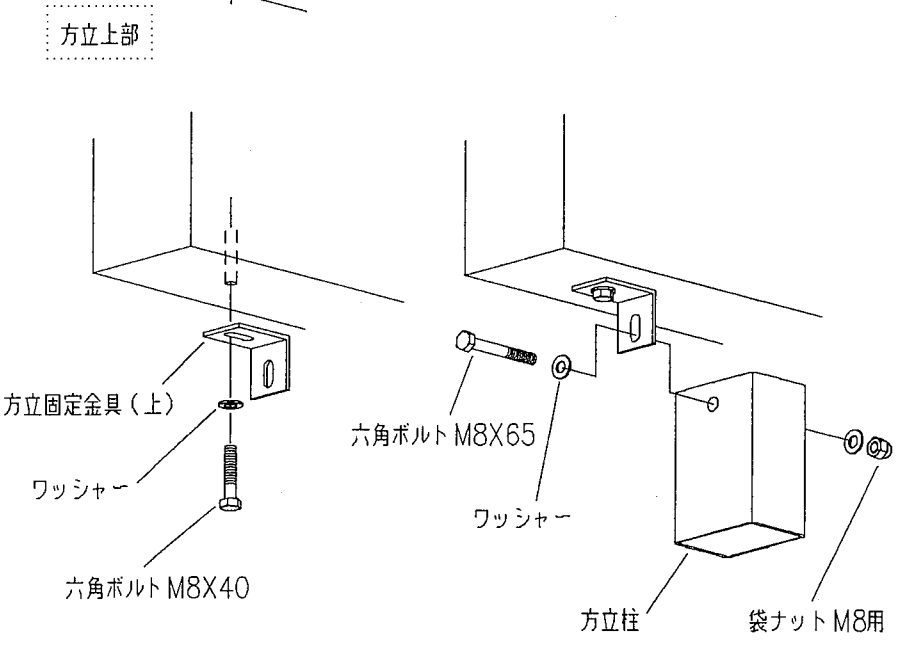
2) 方立柱上部の取付け

- 上部たれ壁にコンクリート用アンカーを埋め込み、方立固定金具（上）を取付けてください。
- 方立柱を六角ボルトM8X65及び袋ナットで方立固定金具（上）に取付けてください。

注）方立柱が垂直になる用に固定してください。





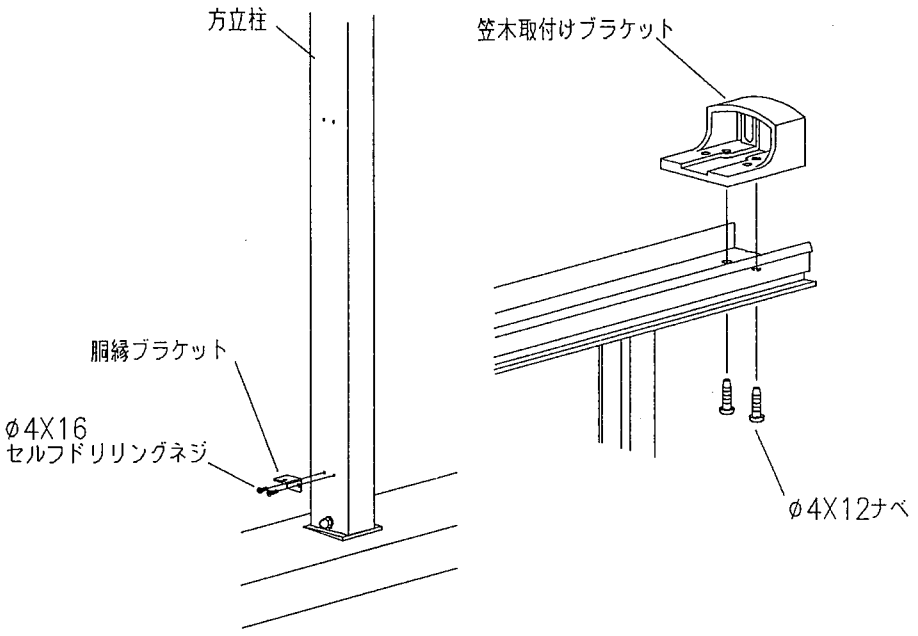


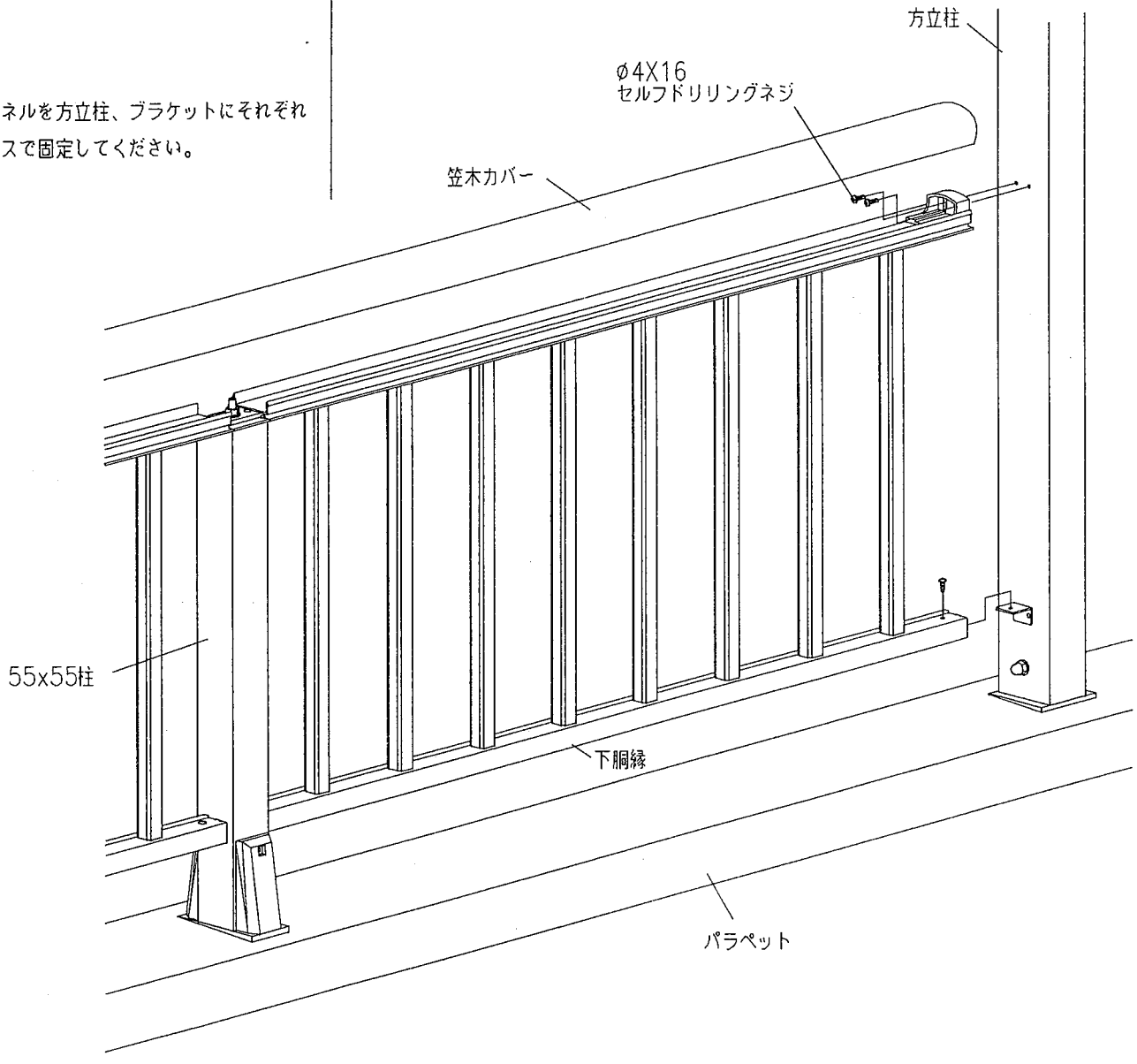
3) パネルの取付け

- 方立柱に胴縁ブラケットをビスで固定します。

- 笠木兼上胴縁に笠木取付けブラケットを取付けます。

- パネルを方立柱、ブラケットにそれぞれビスで固定してください。

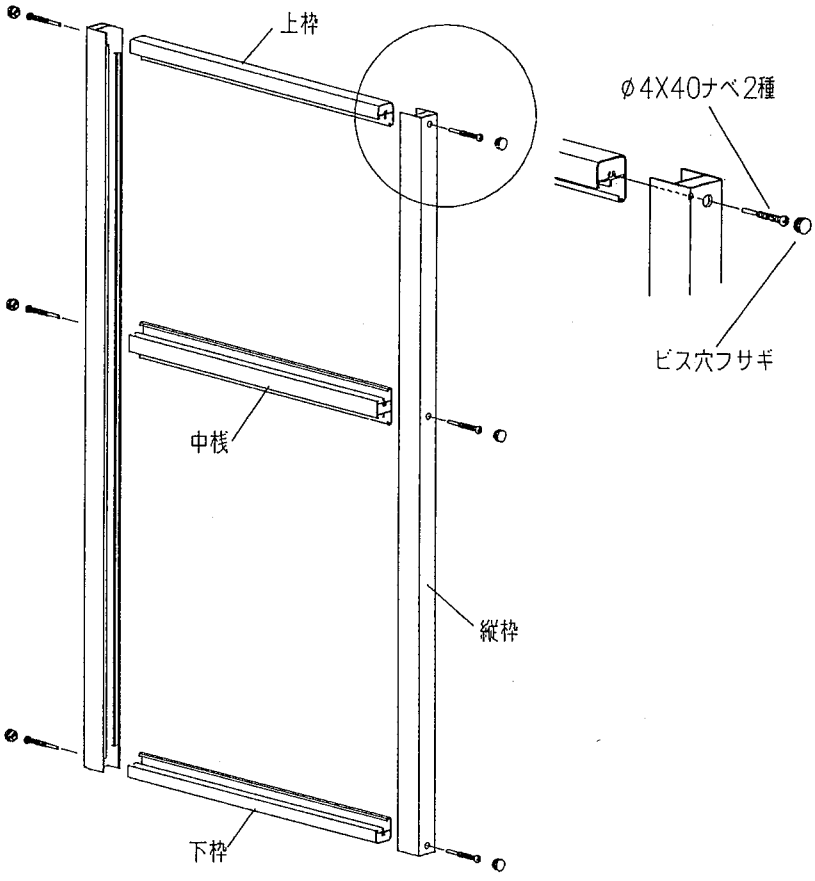




8 隔て板の取付

①枠の組立

- 隔て板をφ4X40ナベビスで組立てます。



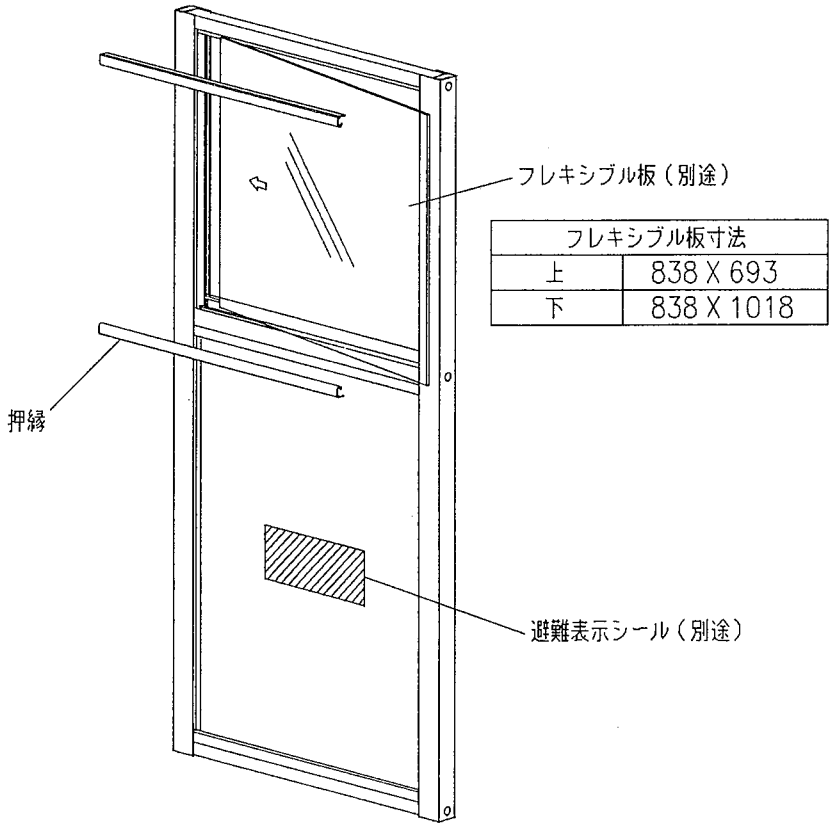
②フレキシブル板の組み込み

- 隔て板の枠にフレキシブル板を押縁、後付けビードを使って組み込みます。

（20m巻）

板厚	後付けビード
3mm	GBY3B
4mm	GBY4B
5mm	GBY5B
6mm	GBY6B

- 隔て板に避難表示シールを貼り付けてください。（別途）

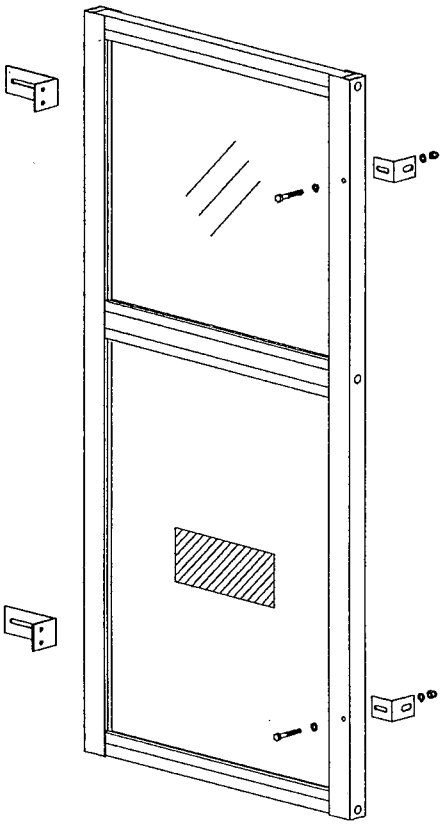


フレキシブル板寸法	
上	838 X 693
下	838 X 1018

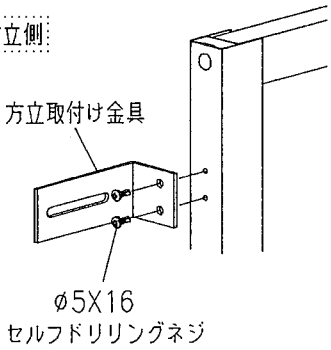
③部品の取付け

- 隔て板壁取付け側の縦枠に、壁取付け金具を六角ボルトM6X65及び袋ナットで取付けます。
（金具の方向に注意してください。）

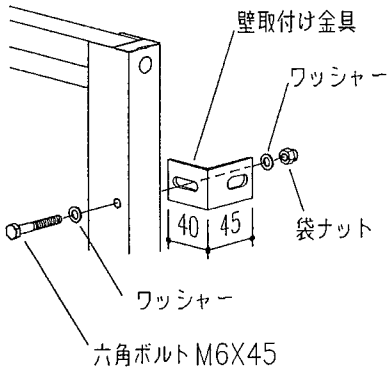
- 隔て板方立取付け側の縦枠に、壁取付け金具をø5X16セルフドリリングネジで取付けます。



方立側



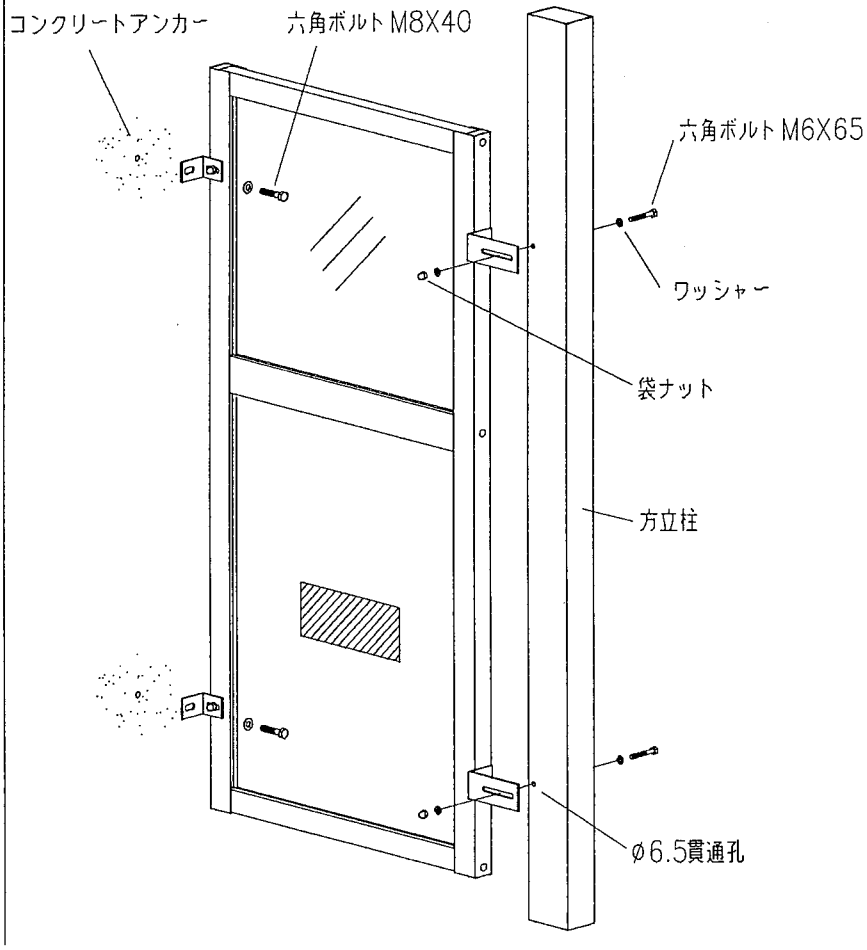
壁側



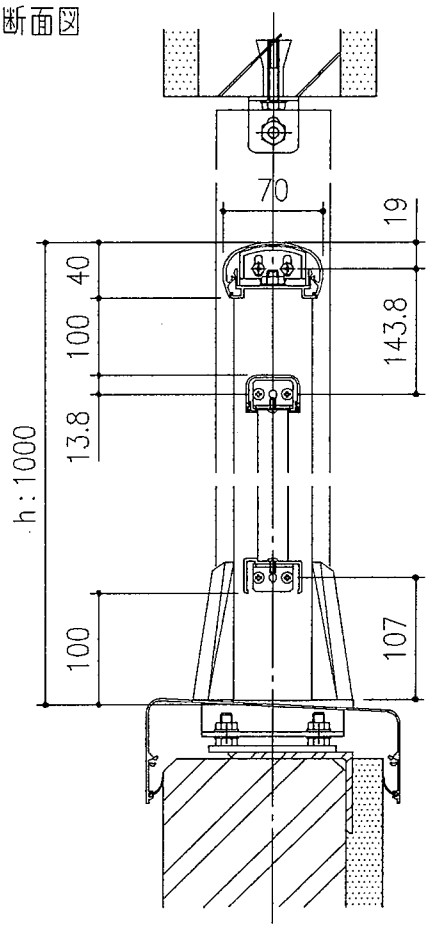
④方立柱への取付け

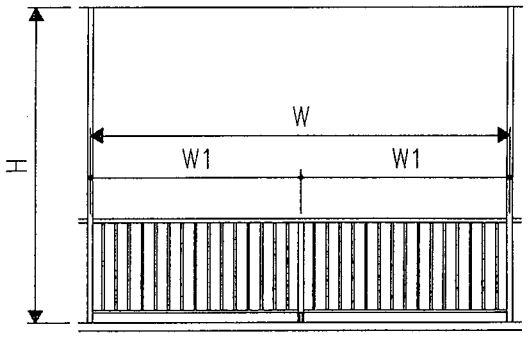
- 隔て板取付け位置にコンクリート用アンカーを打ち込み、隔て板に取付けた壁取付け金具を六角ボルトM8X40で取付けてください。

- 方立柱側は、方立柱に隔て板に取付けた方立取付け金具の位置に合わせて、ø6.5の貫通孔をあけて六角ボルトM6X65及び袋ナットで取付けます。



◎ 方立仕様断面図



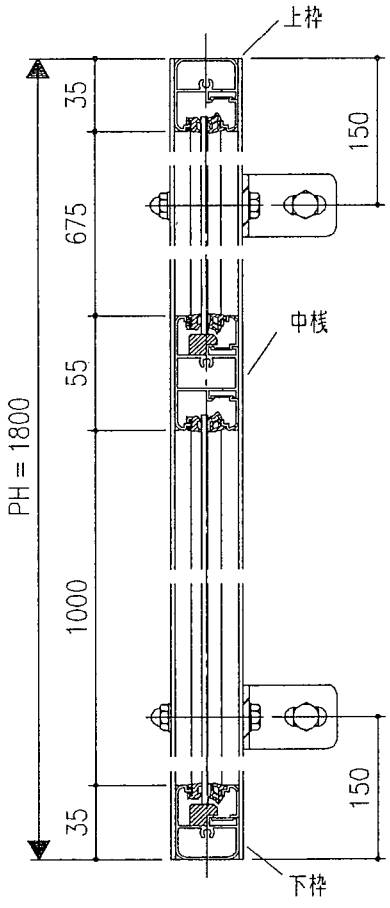


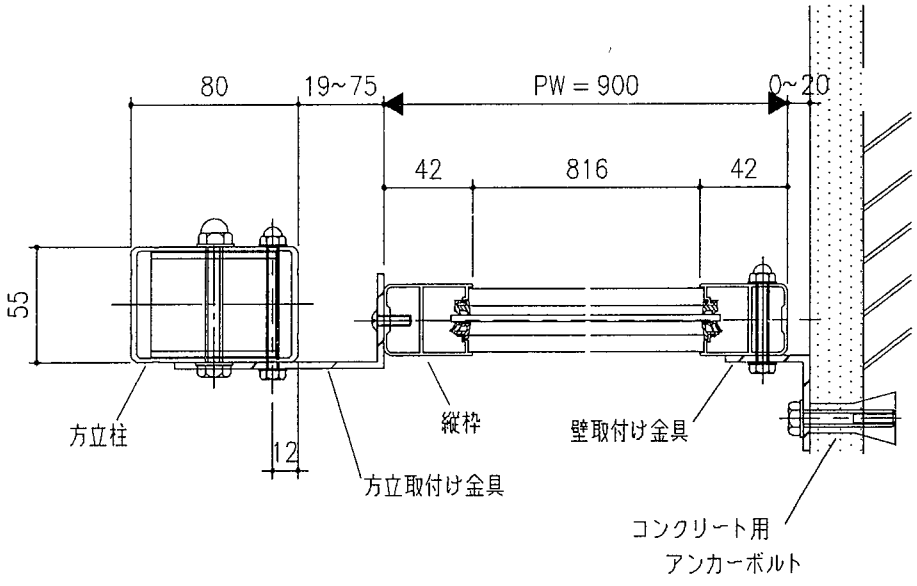
集合住宅の非共用部にご使用になる場合

1　方立柱間隔　W : 4000mm以下

2　柱（55角）間隔　W1 : 2000mm以下
　間柱（25X40）を使用する場合の柱間隔は、1000mm以下

◎ 隔て板断面図





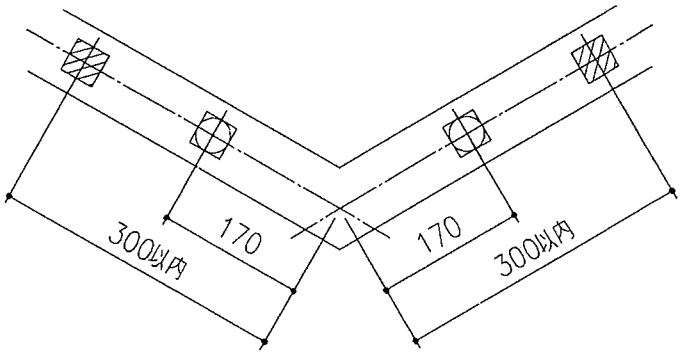
9 角度自在金具の取付け

1) ベースアンカーの取付け

- コーナー部柱ピッチが300mmを越えないように、柱固定用ベースアンカーを取付けてください。
- パラペット固定用ベースアンカーは、コーナー部より170mmの場所に取付けてください。

柱埋め込みタイプの場合

- コーナー部から300mmを越えない位置に柱を埋め込んでください。

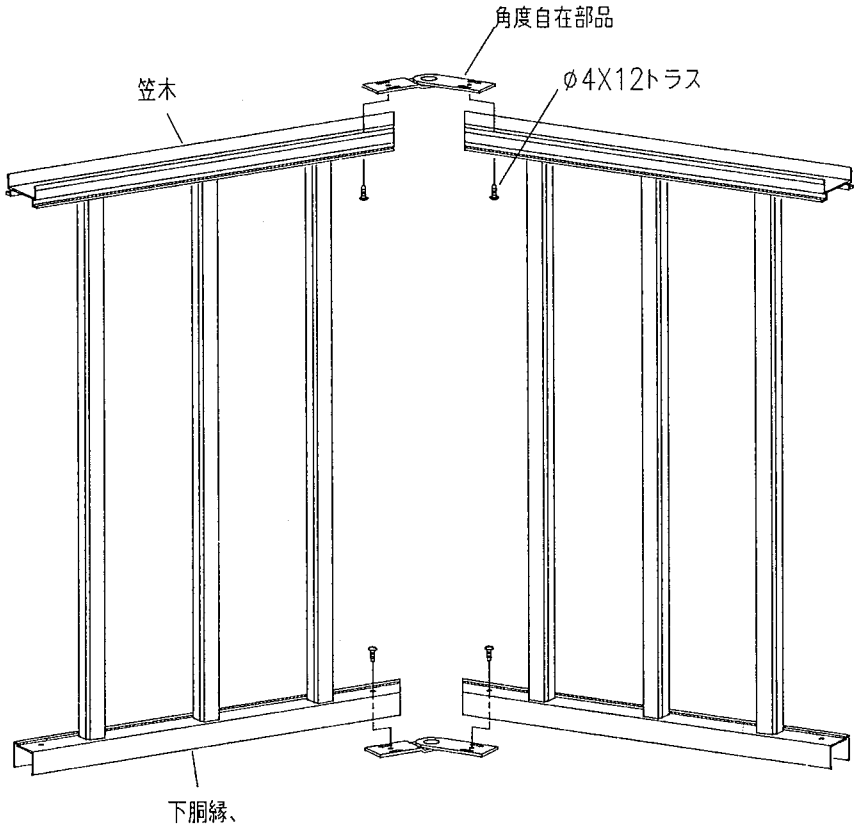


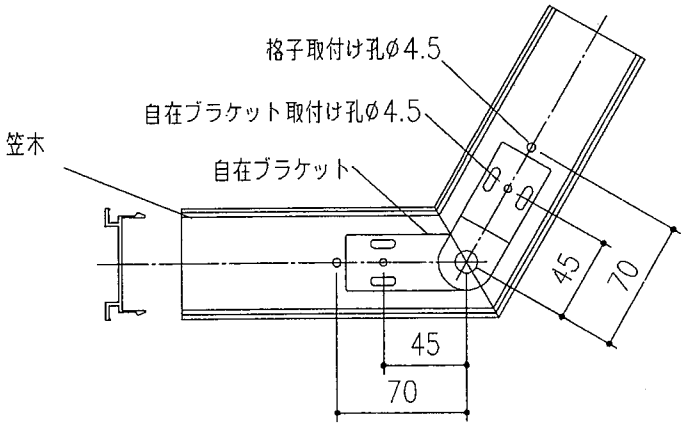
パラペット固定用ベースアンカー

柱取付け用ベースアンカー

2) 各部材の取付け

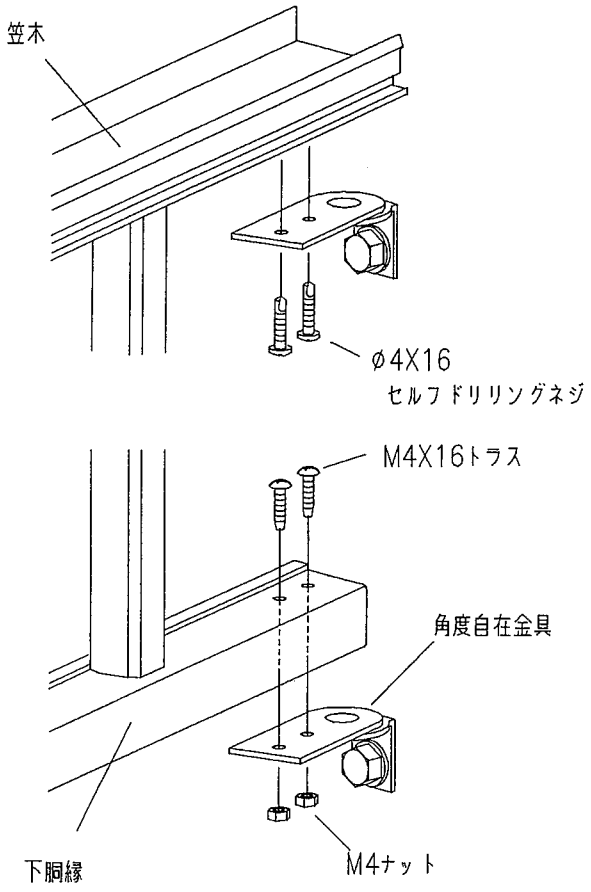
- パラペット、笠木、笠木カバー、上胴縁、下胴縁のそれぞれの部材を軀体の角度に合わせて切断してください。
- 笠木、上胴縁、下胴縁は角度自在部品に合わせて、φ4.5の穴加工をした後コーナー部を組み上げてください。（寸法は右下図参照）
- コーナー部の格子の取付け穴加工位置は中心より70mmの位置にφ4.5の孔をあけてください。

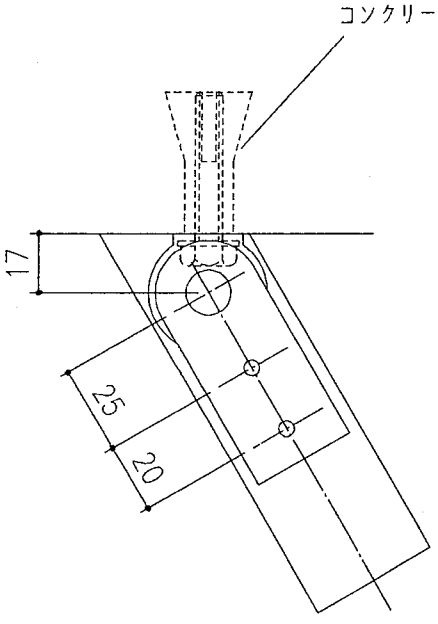


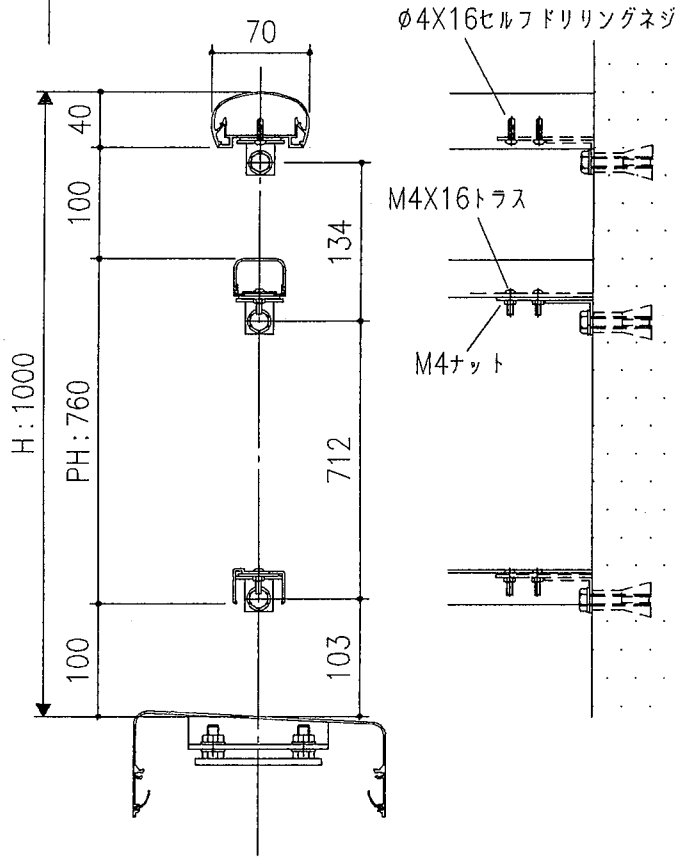


3) 壁付け角度自在部品

- 壁の角度に合わせて、笠木、上下胴縁、パラペットを切断してください。
- 笠木及び胴縁に穴加工してください。（下図参照）
- 金具をそれぞれの位置にコンクリートアンカーで取付けてください。（下孔φ14X50の孔明け）
- 笠木及び胴縁をM4X16ビス、φ4X16セルフドリリングネジで金具に取付けてください。







4) 自在コーナーブロック

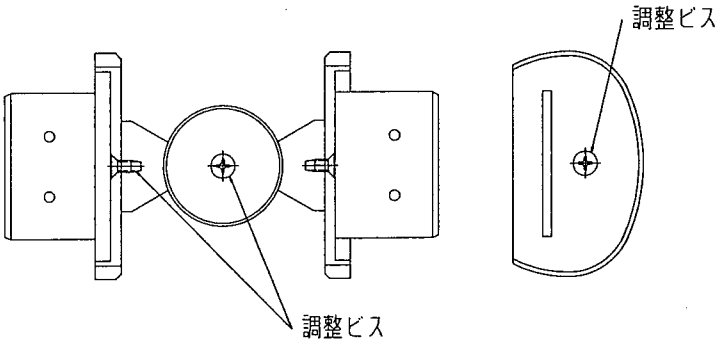
・笠木にφ4.5の孔加工をしてください。
（下図参照）

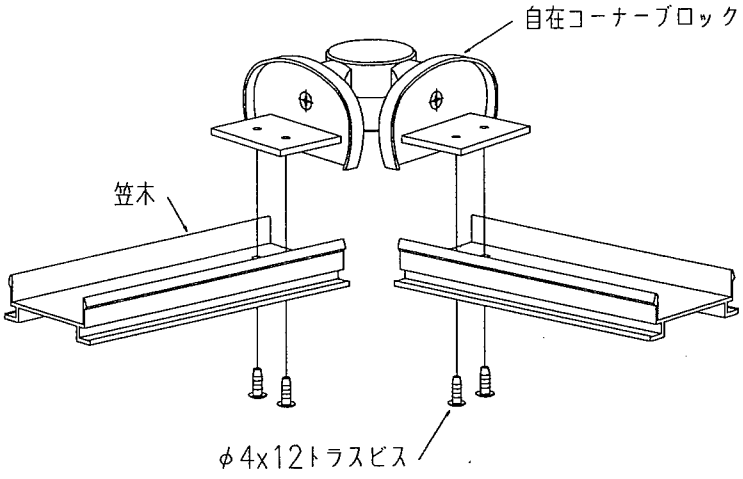
・現場に合わせて自在コーナーブロックを
２本のビス（調整ビス）で
角度を調整してください。

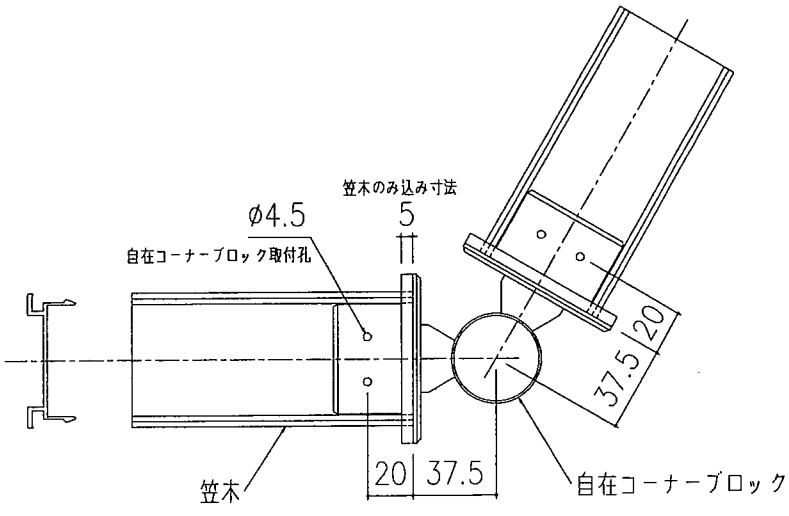
・笠木に自在コーナーブロックを
φ4X12トラスビスで固定してください。

水平方向　95～265°
鉛直方向　60～300°　回転可能です

※ 自在コーナーブロックの芯より
100mm離れた位置に
柱を取付けてください。



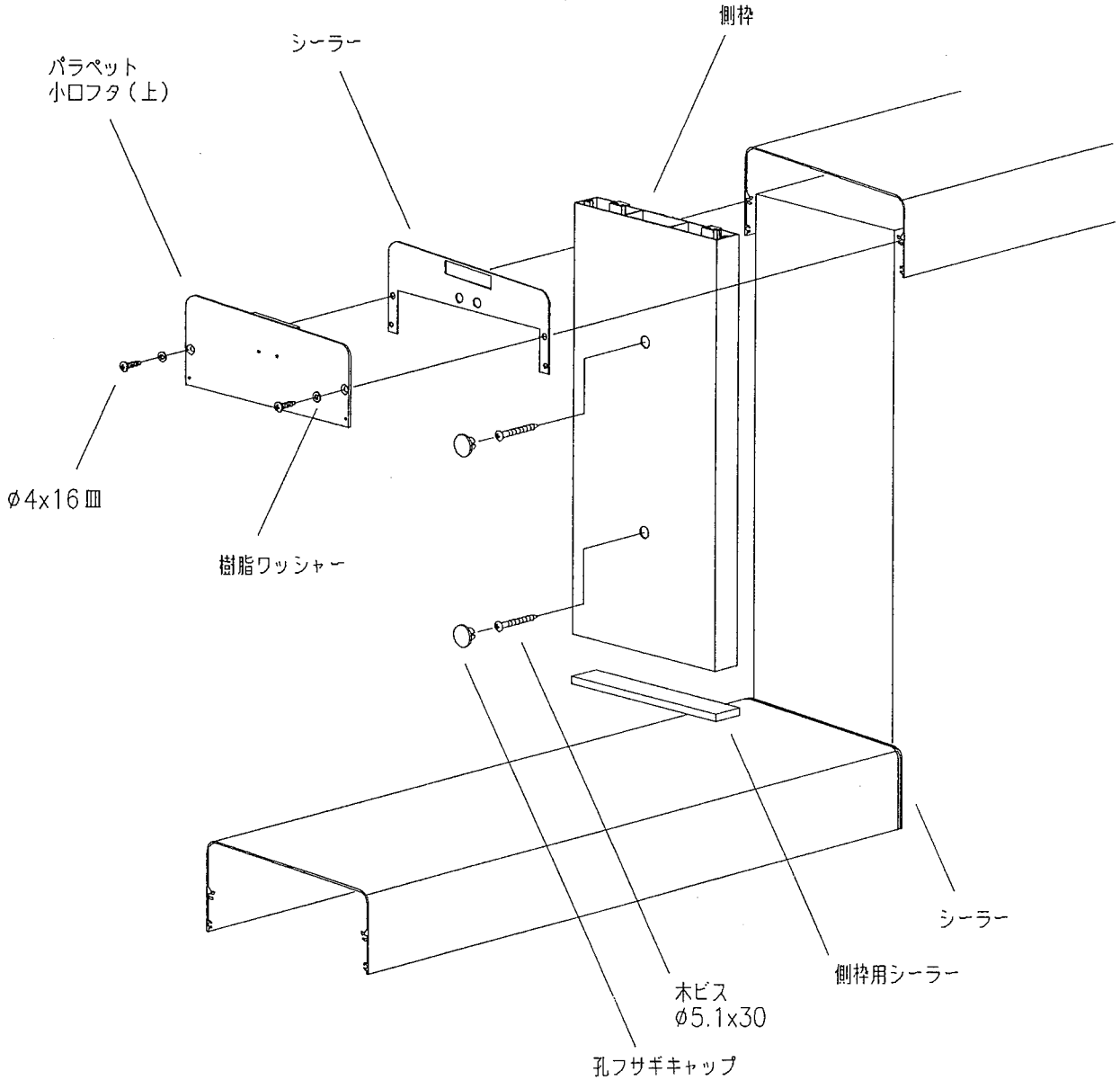




10 側枠の取付け

- 上下パラペットを取付けてから、軀体とパラペット小口フタ（下）の間をシールしてください。
  ＊上パラペットは、軀体面より25mmほど出して取付けてください。
- 側枠の上下面を確認してシーラーを貼り付け、パラペットに圧着させながら木ビスø5.1x30で取付けてください。
- 孔にキャップを付けます。
- パラペット小口フタにシーラーを貼り、ø4x16皿ビスで取付けてください。。

＊片流れパラペット仕様の場合は、189ページの加工図を参照してください。



11 縦パラペットの取付け

・下側になるパラペット端部に小口シーラーを挟んで、小口フタ下用をφ4x16 ナベタッピンで固定して下さい。

⚠注意 電気ドリル等で、強く締め過ぎないで下さい。樹脂部品ですので、破損の恐れが有ります。

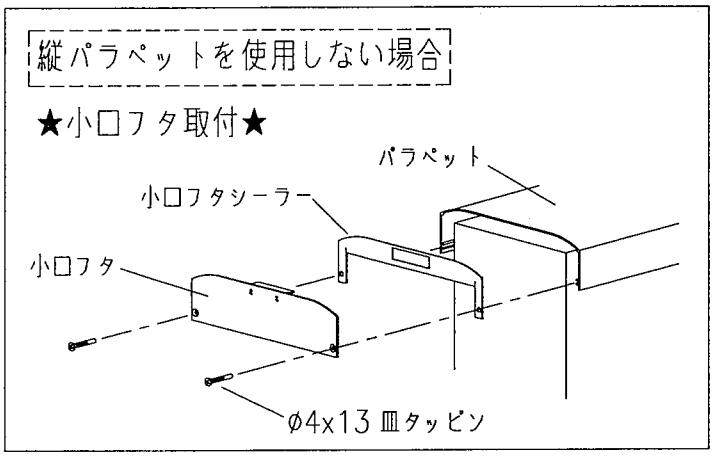
・上下パラペットをベースアンカーに嵌め込んで下さい。

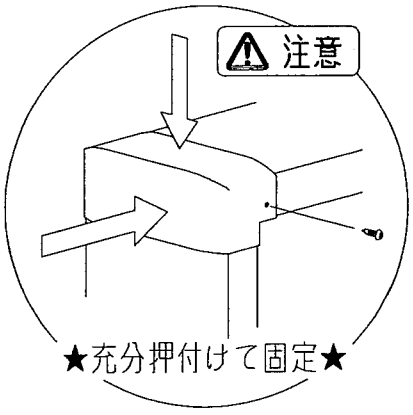
・小口フタ下用と、躯体の間にシーリングをして下さい。

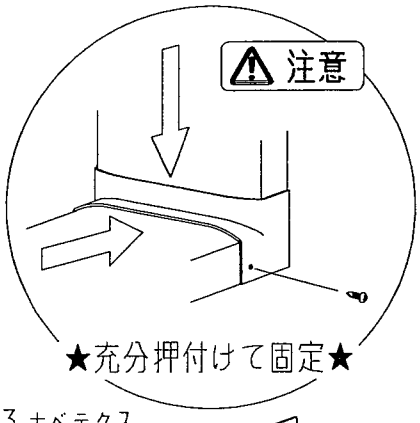
・縦用パラペットをベースアンカーに嵌め込んで下さい。

・上下 出入隅に鉛直カバーをφ4x13 テクスビスで固定して下さい。

⚠注意 コーナーカバーを取付ける際は、パラペットに充分押し付けて（図参照）固定して下さい。







φ4x13 ナベテクス

鉛直出隅カバー

パラペット（縦）

パラペット（上）

木ビス

鉛直入隅カバー

φ4x13 ナベテクス

φ4x16 ナベタッピン

小口フタシーラー

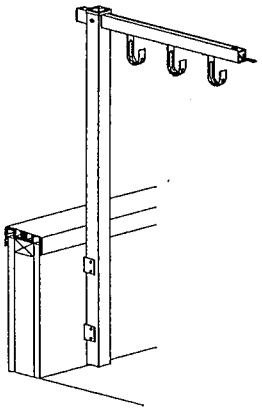
パラペット（下）

小口フタ下用

ベースアンカー

12 物干し・テラス柱の取付け

1) 壁付け仕様



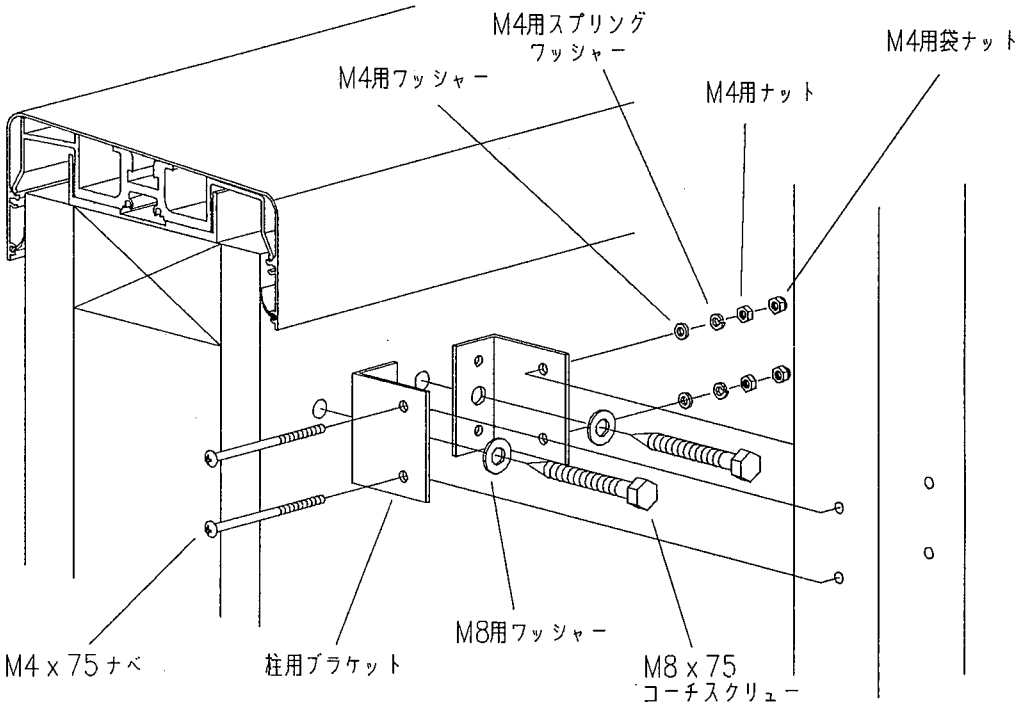
・コーチスクリューで柱用ブラケットを軀体に取付けます。
（取付け寸法は、下図を参考にしてください。）

※軀体に合わせて木ビス（φ4.5x45）もご使用ください。

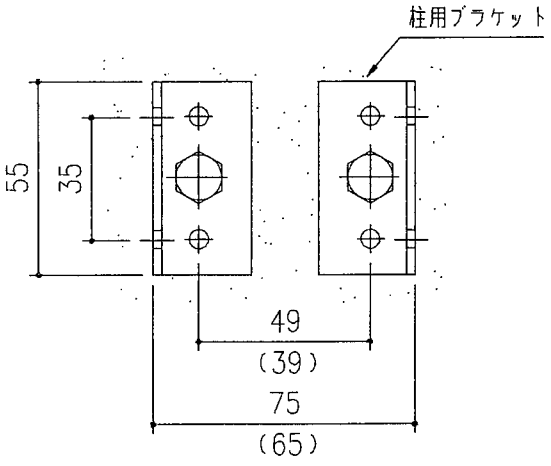
・取付いている柱用ブラケットをガイドにして、柱にφ5の孔加工をしてから、φ4x75ナベを通し、M4用袋ナットで固定してください。

注1）柱用ブラケット取付け位置の壁の後ろに、間柱があることを確認してください。

注2）雨漏れ防止のため取付け穴には、必ずコーキングしてください。



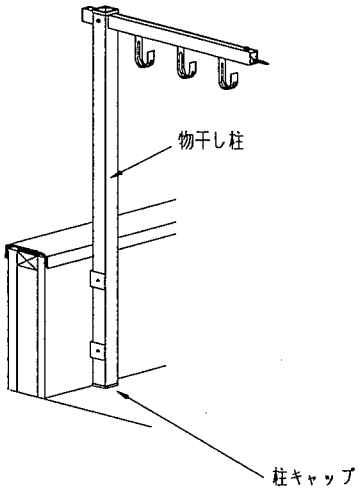
<柱ブラケット取付幅>



※（ ）寸法は、60角柱使用の場合です。

物干し柱の取り付け

<壁付け仕様>



- 柱下端に 柱キャップをテクスビスで固定してください。
- 柱固定ブラケットの高さを決めて ビス（φ5X65ナベ）固定してください。

⚠注意

※ ビスの下孔はφ3.5 深さ45mm以下にしてください。

※ ビスの下孔には、シーリング材（変性シリコーン：別途）を充填してください。

※ 柱用ブラケット取付け位置の壁の後ろに間柱があることを確認してください。

- 取付けた柱固定ブラケットをガイドにして、柱中央にφ9 の孔加工をしてから、六角ボルト（M8X75）を通し、袋ナットで固定してください。

⚠注意

※ 柱固定ブラケットがテラスの柱から出ないように孔明けしてください。

M8用袋ナット

M8用スプリングワッシャー

M8用ワッシャー

柱固定ブラケット

六角ボルト（M8X75）

間柱

M5用ワッシャー

ビスφ5X65ナベ

φ9

柱（60角）

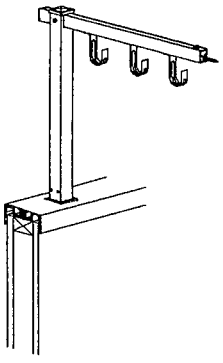
5

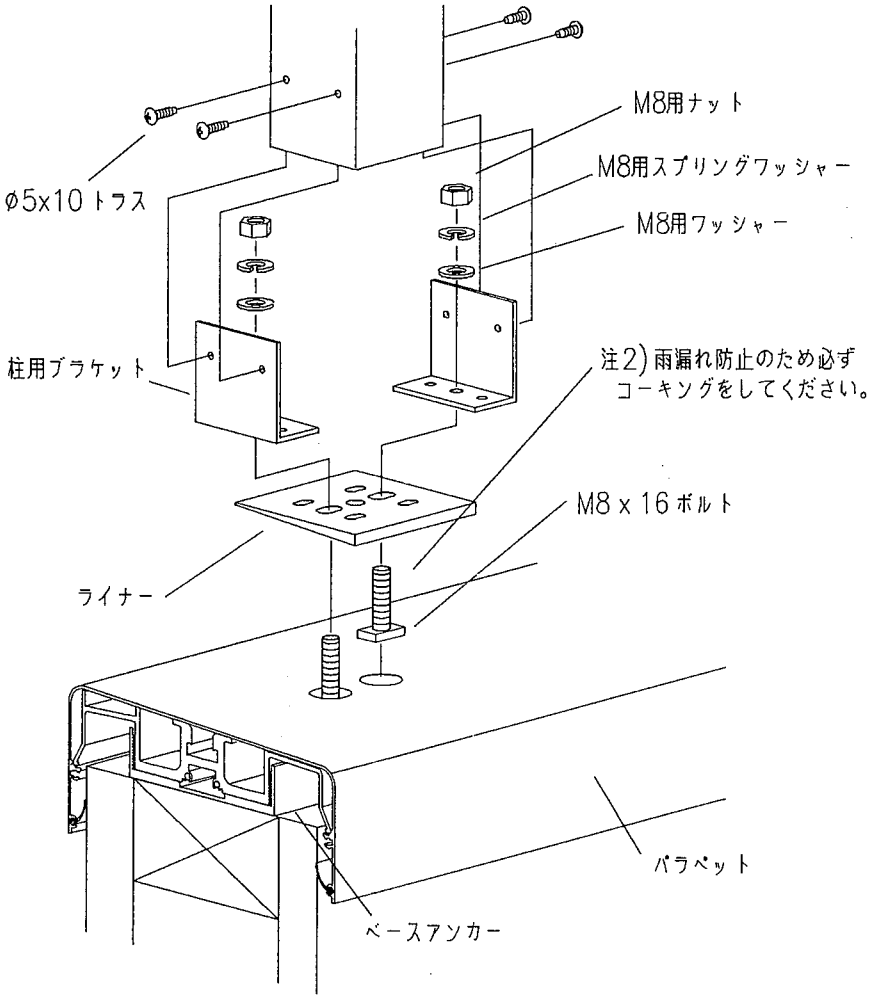
30

2−Φ3.5

※柱下端にキャップを取り付ける孔（Φ3.5）をあけてください。

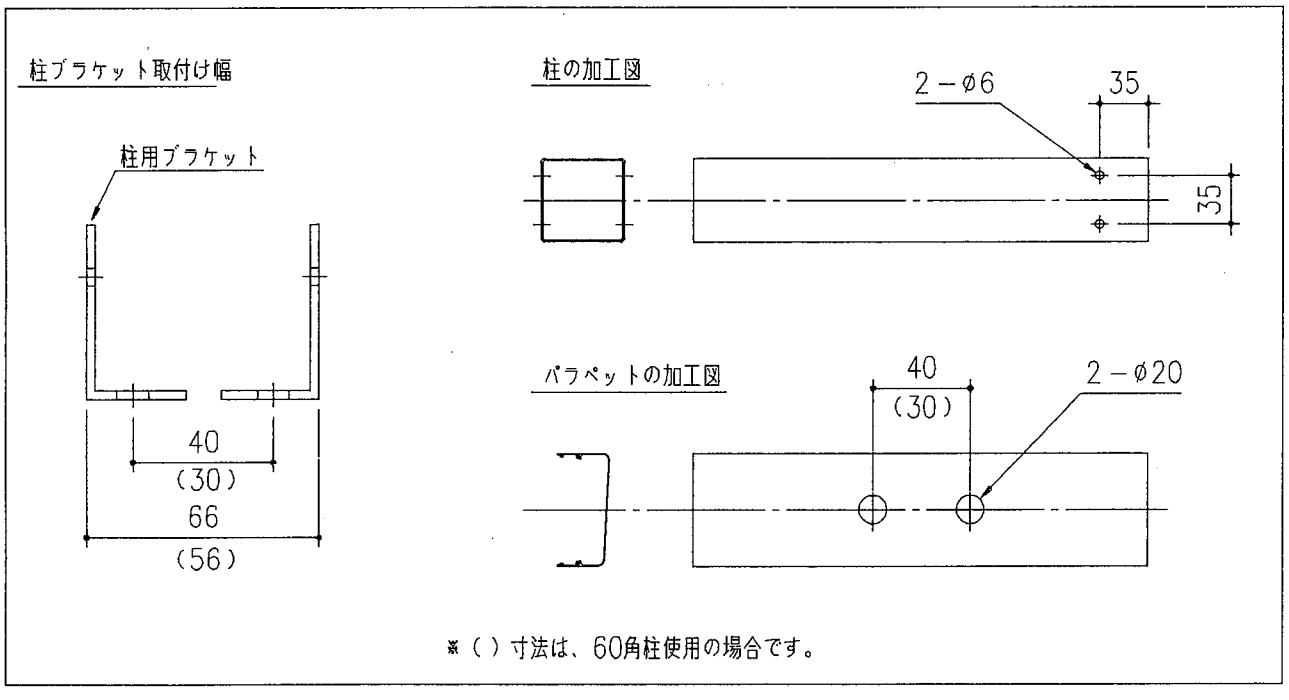
2) ライナー仕様





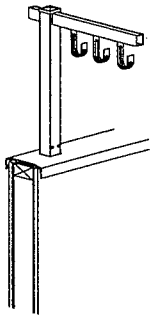
- パラペットにφ20、柱にφ6の孔加工をしてください。
- ベースアンカーにM8x16ボルトを差し込み、ライナー・柱用ブラケットを通してM8用ナットで固定します。
- 柱と柱用ブラケットをφ5x10トラスで取付けてください。

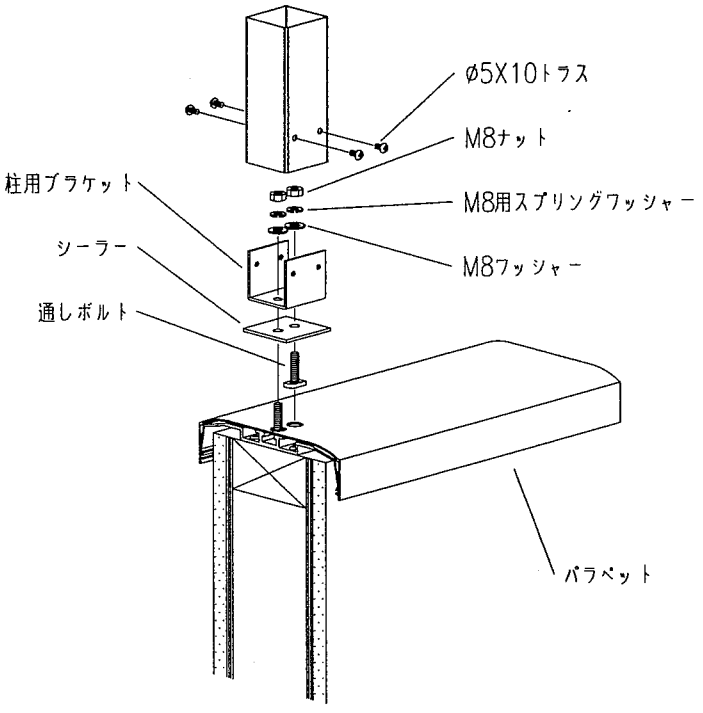
注1) ライナーの下位置にベースアンカーが付いていることを確認してください。



※（ ）寸法は、60角柱使用の場合です。

ベランダ用柱固定ブラケット



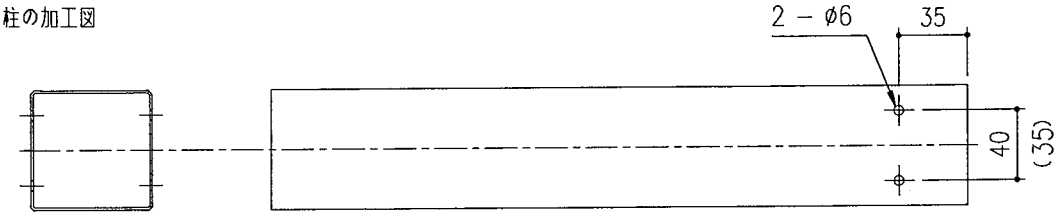


・パラペットにφ16、柱にφ6の
孔加工してください。

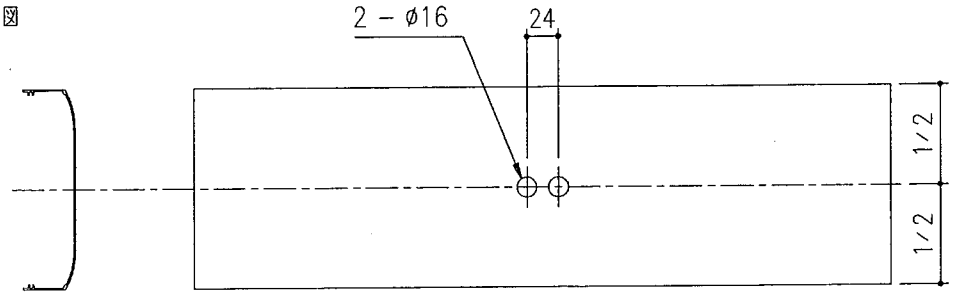
・ベースアンカーに通しボルトを差込み
シーラー・柱ブラケットを通して
M8用ナットで固定します。

・柱と柱用ブラケットをφ5X10トラスで
取付けてください。

柱の加工図



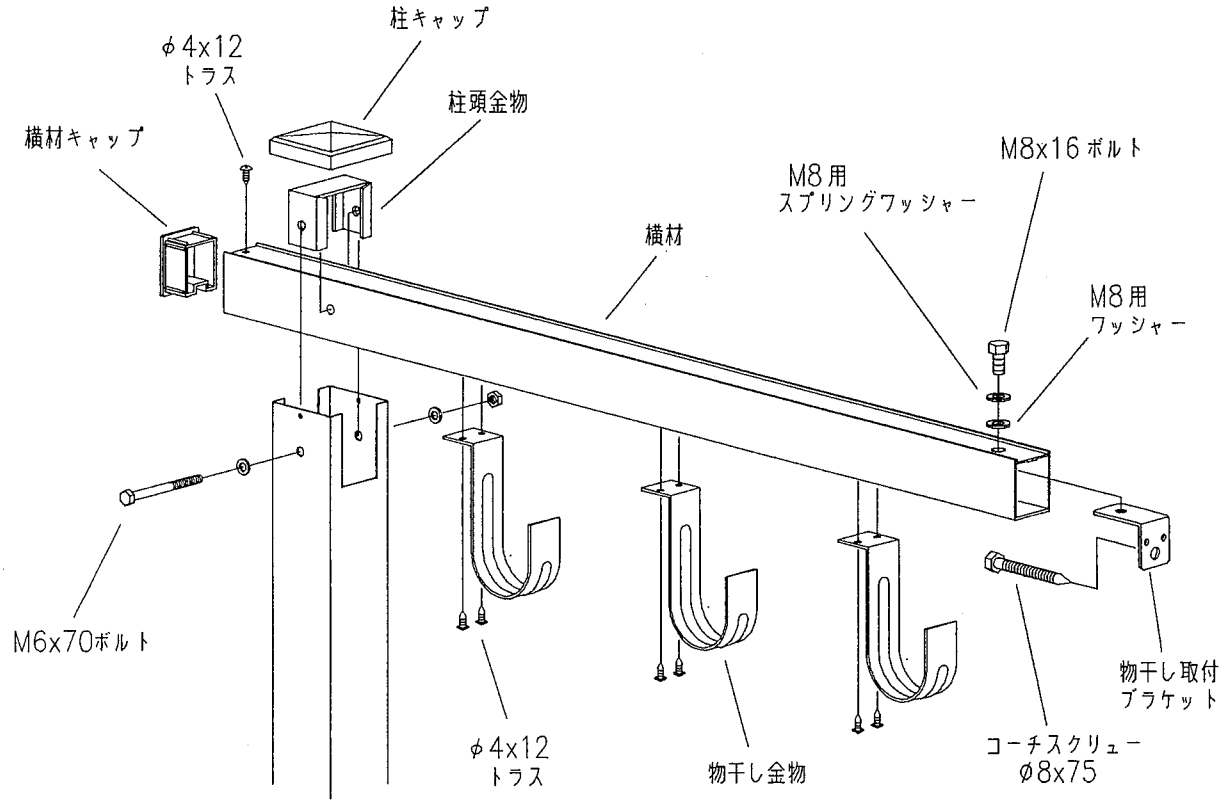
柱の加工図



※（　）寸法は60角柱使用の場合です。

3) 物干しの取付け

- 横材を柱の切欠き部に入れ、壁側に物干し取付ブラケットを取付けます。
- 柱に柱頭金物をかぶせ、M6x70のボルトを通し、ナットで固定します。
- 物干し金物は、横材にφ3.5の孔加工をしてφ4x12トラスで取付けてください。

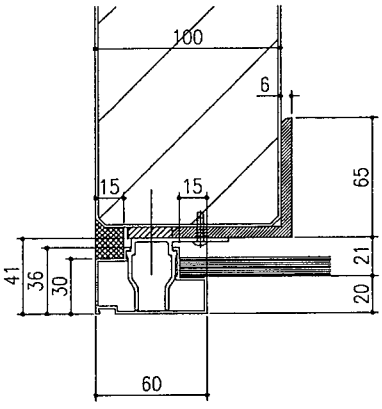


4) テラスの接続

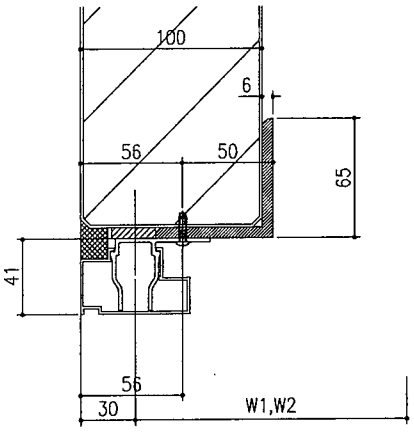
- テラスの取付けは、テラス本体の取付説明書を参照してください。。

▨ 下笠木取付け

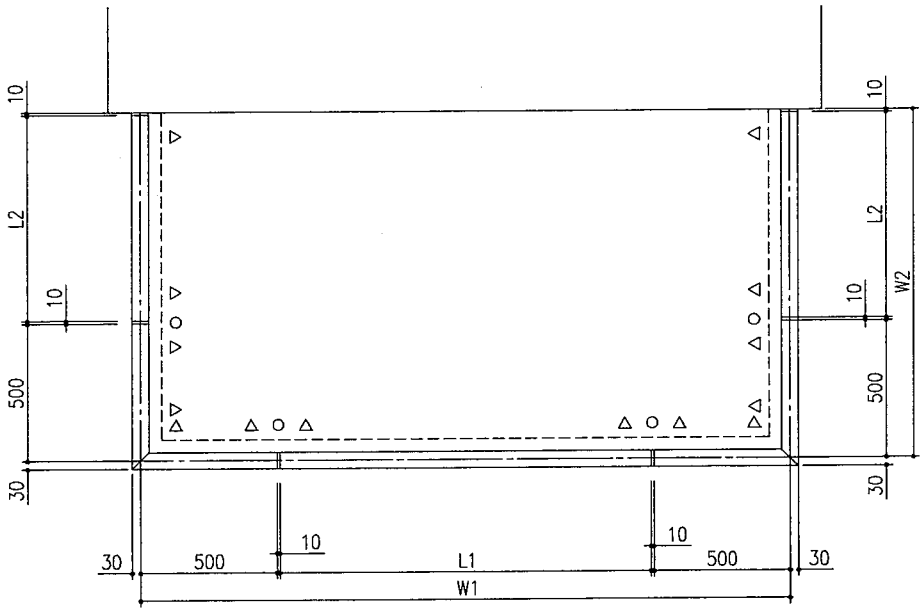
● 下笠木（６０）



下笠木（６０）ＡＬＣ納まり



下笠木（６０）取付け位置



● 下笠木（６０）天井伏図
＊○　印は下笠木コーキング受け位置
＊△　印は下笠木ベースアンカー位置（下笠木ベースアンカーの間隔は１０００mm以内にしてください）

（１）　下笠木と下笠木、躯体の間隔は１０mm　明けてください。

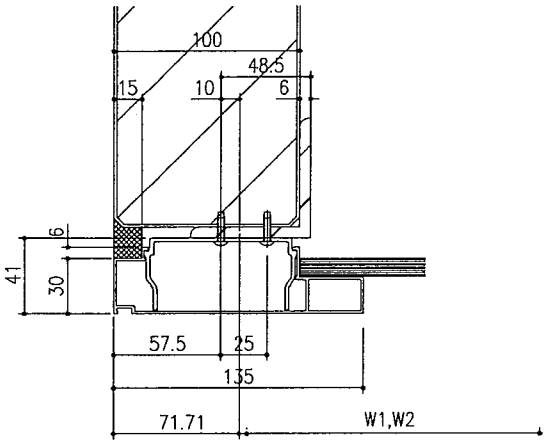
（２）　W1 は下笠木の芯芯寸法、W2 は 躯体面から下笠木芯寸法です。

（３）　下笠木の切断寸法(上図天井伏図参照)

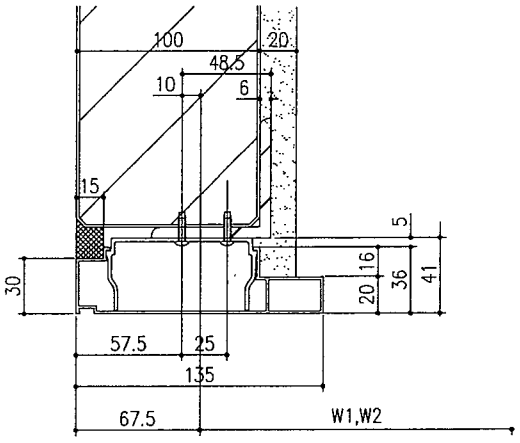
- Ｌ１＝Ｗ１－１０２０
- Ｌ２＝Ｗ２－５２０

▨笠木手摺　下笠木取付け施工マニュアル

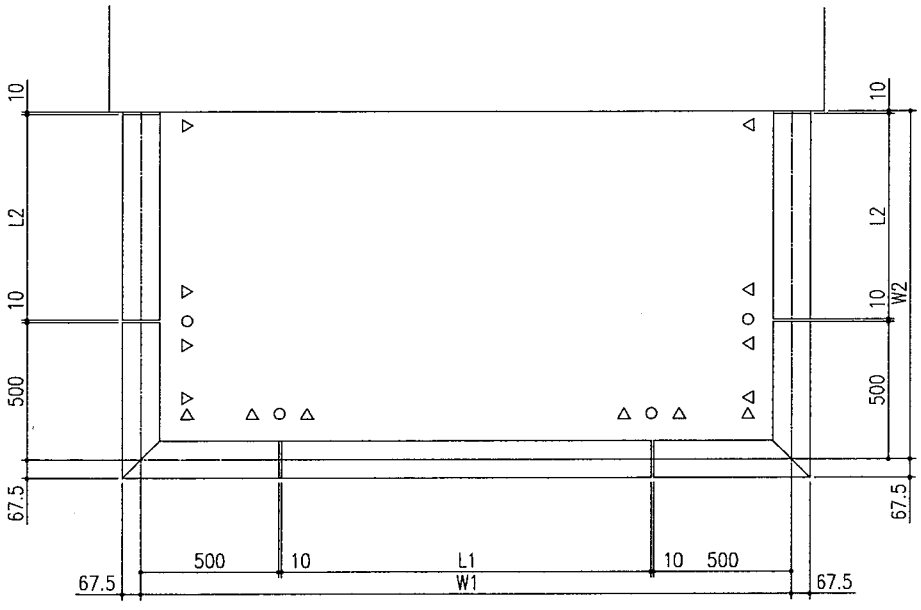
● 下笠木（135）



1　下笠木（135）ALC納まり



2　下笠木（135）ALC納まり



● 下笠木（135）天井伏図

＊○　印は下笠木コーキング受け位置

＊△　印は下笠木ベースアンカー位置（下笠木ベースアンカーの間隔は１０００mm以内にしてください）

（1）　下笠木と下笠木、躯体の間隔は１０mm　明けてください。

（2）　W1 は下笠木の芯芯寸法、W2 は 躯体面から下笠木芯寸法です。

（3）　下笠木の切断寸法(上図天井伏図参照)

- Ｌ１＝Ｗ１－１０２０
- Ｌ２＝Ｗ２－５２０

笠木手摺　下笠木（６０）取付け方法

1　下笠木芯を墨出ししてください。

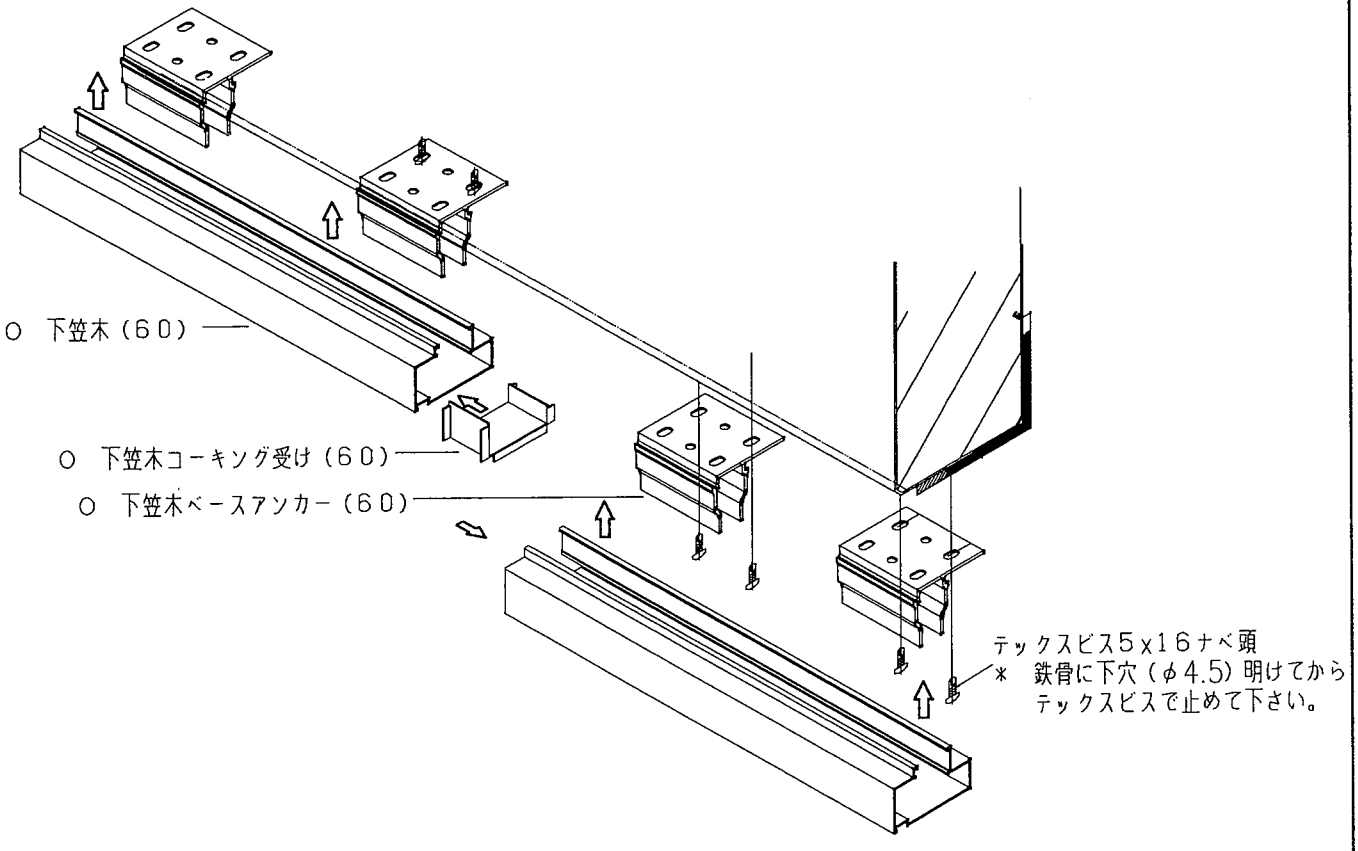
2　下笠木ベースアンカー取付け位置を決め,取付けてください。

　○　下笠木ベースアンカーの取付け位置は、納まり図、部品寸法参照。

　○　下笠木ベースアンカーを取付ける場合は,下穴（φ４。５）を明けテックスビスで止めて下さい。

　○　下記セット以外にビス等が必要な場合は、別途用意してください。

3　下笠木と下笠木、躯体の間はコーキングにて仕上げてください。



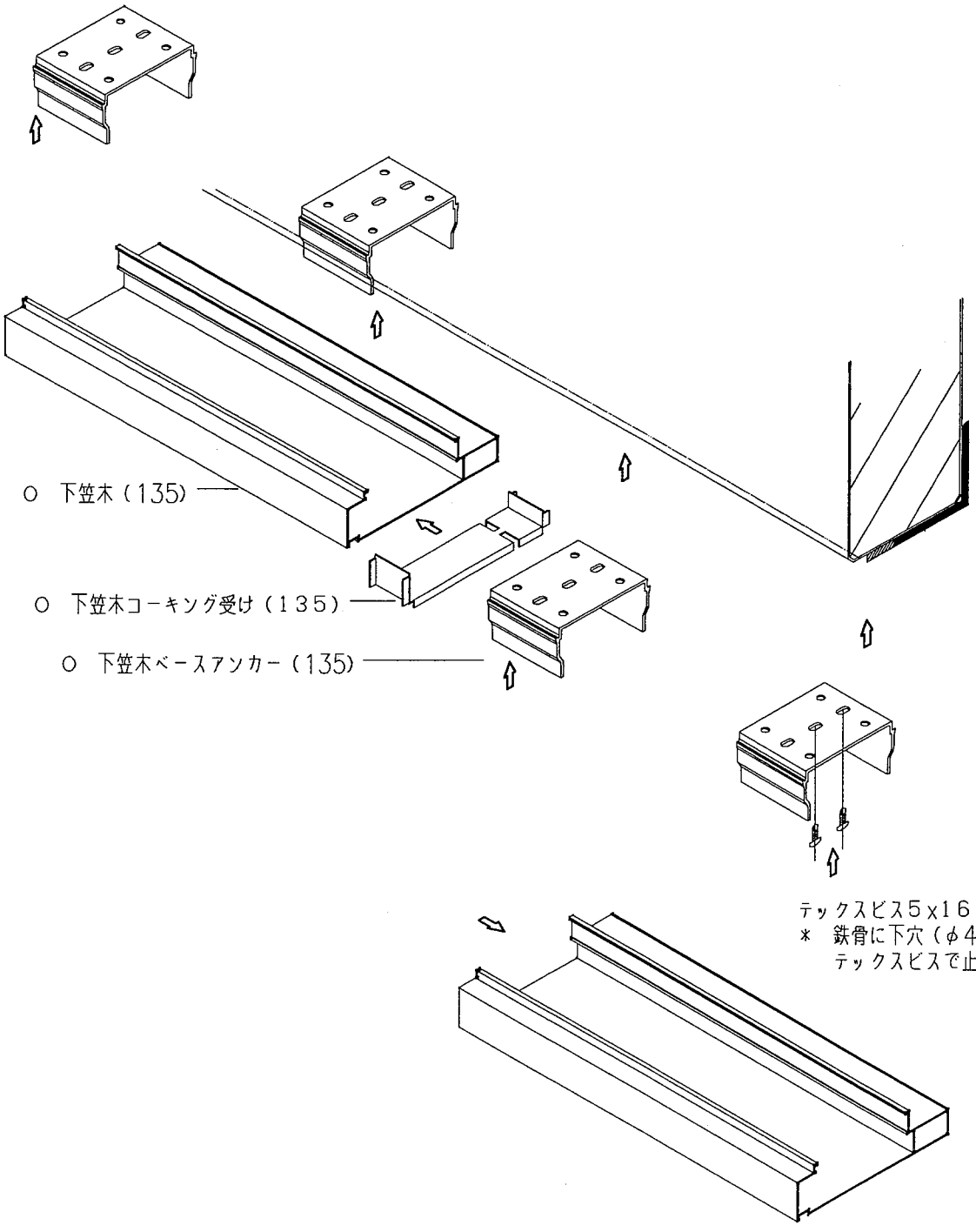
笠木手摺　下笠木（１３５）取付け方法

1　下笠木芯を墨出ししてください。

2　下笠木ベースアンカー取付け位置を決め,取付けてください。

　O　下笠木ベースアンカーの取付け位置は、納まり図、部品寸法参照。

　O　下笠木ベースアンカーを取付ける場合は,下穴（φ４。５）を明けテックスビスで止めて下さい。

　O　下記セット以外にビス等が必要な場合は、別途用意してください。

3　下笠木と下笠木、躯体の間はコーキングにて仕上げてください。